

学会参加報告書

R21-014 大門昂生

学会名:JCR2024 (第 80 回日本放射線技術学会総会学術大会)

会場: パシフィコ横浜

参加日時:2024/4/13 (土) ,14 (日)

私は、2024 年 4 月 13 日、14 日パシフィコ横浜で開催された JCR2024 (第 80 回日本放射線技術学会総会学術大会) に参加しました。今回この学会に参加した目的は、全国の主に大学病院で行われている研究を知ること、大学病院での研究がどういったことに焦点を当て、題材にしているのかを理解するためでした。日本で最も大きい学会であるため、私は溢れる好奇心と少しの緊張を持って参加しました。

学術大会の口演の内容は、学術、一般演題、専門や教育などの中から私の現在の知識量で興味があるものを中心に聞いていました。学会の発表は全て内容が難しい印象がありましたが、様々な内容の口演を各箇所ですべて聞いているので、学生の私でも聞いて分かるものがあり、非常に興味深いと思いました。私が主に興味を持って聴講したのは、今後の自分に何が必要なのか、どんな人材が求められるのかなどの自身のマインドを育成していくために必要とされる発表に聴講しました。もちろん、教育の口演を聴き、今後技師として働いたときに、臨床では必要となるのだろうという学生の視点から聴いていました。

併催されている国際医用画像総合展は圧巻された、の一言に尽きます。この展示場で各企業の方に装置の説明を聞いていると、患者の安心、低線量高画質、AI が共通する視点でした。これらは、患者側の観点でどれだけ不安感を取り除き、角や高さなど細かことに配慮し、かつ、患者の被ばくを減らした線量で、いかに鮮明な画像を撮影できるようにするために開発がされていました。そして、AI を搭載した位置合わせで作業効率化や正確さなどに関する装置が多くあると感じました。これらの視点を考慮し、各装置の特徴を合わせることで画期的な装置の開発に繋がっていると思います。

今回の学術大会で研究というものが具体的に知ることができ、特に題材に対しての観点の付け所などに研究者の偉大さを覚えました。今回、JCR2024 に参加できて非常に良い刺激となりました。

